

科 目 名	必修／選択	単位数	学 年	学科
音楽 I	選択	2	1	普通科

科目の概要	年間を通して実技〔歌唱(外国歌曲ほか)・器楽(バイオリン)と鑑賞(主に西洋音楽史)を行います。実技活動を通しては、良い音楽とはどういうものかを感じ取り、様々な発音・発声を通して表現を学びます。 鑑賞活動では、長く愛されてきた音楽の特徴や背景を学び、共通性や固有性と自分なりの価値を見出しながら、美がどのような要素で成り立っているのかということについて考察します。			
教材名	教科書	音楽 I 改訂版 Tutti+ (大修館書店)		
	副教材	Music Note はじめてのバイオリン		
担当者	竹本 正治			
学習到達目標	① 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につける。 ②自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することや、音楽評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。 ③主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。			
学習方法	(表現) ・日本語のほかドイツ語、イタリア語、英語の作品を原語で歌います。また2部から4部の合唱にも取り組みます。 ・バイオリンの基礎的な奏法の習得と親しみやすいメロディの演奏に取り組みます。 (鑑賞) ・作曲家と音楽のスタイルに着目して西洋音楽史を学び、様々な音楽に触れるとともに時代ごとの音楽の特徴を味わいます。 ※日本の伝統音楽や楽器に関する事項についても学習します。			
評価の方法 及び 評価基準 と 評価規準 ルーブリック		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	評価方法	・演奏（実技試験） ・鑑賞ノート等提出物	・演奏（実技試験） ・鑑賞ノート等提出物	・授業に対する姿勢
	A	・各実技の演奏表現、創作表現をするために必要な基本的技能を十分に習得している。 ・作品の美しさや価値を十分に理解し、鑑賞することができる。	・音楽のよさや美しさを十分に感受し、意図に基づいて表現を工夫したり、作品の意味や価値を考え味わい捉えることができる。	・主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組むことができ、技術や表現方法の向上が見られる。
	B	・各実技の演奏表現をするための技能を習得している。 ・作品の美しさや価値を理解し、鑑賞することができる。	・音楽のよさや美しさを感じ、意図に基づいて表現を工夫したり、作品の意味や価値を考え、味わい捉えることができる。	・表現及び鑑賞の創造的活動に取り組むことができ、技術や表現方法の向上が見られる。
	C	・上記が不十分な場合	・上記が不十分な場合	・上記が不十分な場合

年 間 学 習 計 画

月	章 ・ 単元	学習内容・目標等	時数	備考(テスト・講習等)
4 5 6	歌唱 ○発声の基礎 ・発声練習、校歌 ○日本の歌 ・少年時代 ・小さな空 ほか ○ドイツ語の歌曲 ・Heidenröslein(シュペル) 他 器楽 ○バイオリンの基礎① ・楽器の取り扱い ・ボーイングの基礎 ・左手の練習 鑑賞 ○西洋音楽史① ・古代・中世 ・中世〜ルネサンス ・バロック①〜②	歌唱 ・校歌や親しみやすい作品に触れて歌唱の楽しみを味わいながら高校の音楽学習への意欲を養う。 ・ドイツ語の言葉の特性と旋律やリズム曲の構成などとの関わりに関心を持ち言葉の抑揚や言語のもつ質感を捉えながら表情豊かに歌う。 器楽 ・バイオリンの基本的な奏法を身につける。 鑑賞 ・西洋音楽の源流から時代とともに変化する音楽のスタイルに着目して古代中世からバロックの音楽を鑑賞し、文化的・歴史的背景を知るとともに、そのよさや美しさを自ら味わう。	20	・歌唱、器楽、鑑賞の3活動を2時間授業の中で取り扱う。 6月：歌唱テスト
7 8 9	歌唱 ○イタリア語の歌曲 ・Caro mio ben 他 ○英語の歌曲 ・Danny Boy 他 器楽 ○バイオリンの基礎② ・移弦とボーイングの練習 ・音階 (イ長調・ニ長調・ト長調) ・long long ago ・きらきら星変奏曲 他 鑑賞 ○西洋音楽史② ・古典派①〜② ・ロマン派①〜③	歌唱 ・イタリア語、英語の言葉の特性と旋律やリズム、曲の構成などとの関わりに関心を持ち、言葉の抑揚や言語のもつ質感を捉えながら表情豊かに歌う。 器楽 ・バイオリンの基本的な奏法を身につけるとともに技能の習熟度の応じた楽曲wを演奏する。 鑑賞 ・時代とともに変化する音楽のスタイルに着目して古典派からロマン派の音楽の鑑賞し、文化的・歴史的背景を知るとともに、そのよさや美しさを自ら味わう。	18	・歌唱、器楽、鑑賞の3活動を2時間授業の中で取り扱う。 9月： バイオリンテスト
10 11 12	歌唱 ○混声合唱① ・ハーモニー練習 ・Amazing Grace 他 器楽 ○バイオリンの基礎③ ・スラーと4の指の練習 ・主人は冷たい土の中に ・メヌエット 他 鑑賞 ○西洋音楽史③ ・ロマン派④〜⑤ ・近、現代①〜③	歌唱 ・混声合唱の響きを味わい他者との調和を意識して歌い、よりよい響きを作る工夫をする。 器楽 ・バイオリンの基本的な奏法を身につけるとともに技能の習熟度の応じた楽曲の音楽表現を工夫しながら演奏の楽しさを味わう。 鑑賞 ・時代とともに変化する音楽のスタイルに着目してロマン派から近、現代の音楽の鑑賞し、文化的・歴史的背景を知るとともに、そのよさや美しさを自ら味わう。	16	・歌唱、器楽、鑑賞の3活動を2時間授業の中で取り扱う。

1 2 3	歌唱 ○混声合唱② ・ハーモニー練習 ・大きな古時計 他 器楽 ○バイオリンの基礎④ これまで学んだ奏法のまとめ ・メヌエット ・狩人の合唱 他 鑑賞 ○西洋音楽史④ ・近、現代④～⑦ ※日本の伝統音楽・日本の楽器等についてはこの項で関連して学習する。	歌唱 ・混声合唱の響きを味わい他者との調和を意識して歌う。また、曲想が歌詞の内容や作曲者の思いなどによってもたらせていることを理解しながら歌唱表現を工夫する。 器楽 ・バイオリンの基本的な奏法を身につけるとともに技能の習熟度の応じた楽曲の音楽表現を工夫しながら演奏の楽しさを味わう。 鑑賞 ・時代とともに変化する音楽のスタイルに着目して、20世紀以降の音楽の鑑賞し、文化的・歴史的背景を知るとともに、そのよさや美しさを自ら味わう。 ・日本の伝統音楽や楽器について知るとともに20世紀以降の音楽とのつながりについても学習する。	1 6	・歌唱、器楽、鑑賞の3活動を2時間授業の中で取り扱う。 1月：合唱まとめ 2月：バイオリンテスト
-------------	--	--	-----	--